

10 月 23 日 年間第 30 主日

神と共に正しくとどまる

ルカによる福音書 18 章 9～14 節

⁹自分は正しい人間だとうぬぼれて、他人を見下している人々に対しても、イエスは次のたとえを話された。¹⁰「二人の人が祈るために神殿に上った。一人はファリサイ派の人で、もう一人は徴税人だった。¹¹ファリサイ派の人は立って、心の中でこのように祈った。『神様、わたしはほかの人たちのように、奪い取る者、不正な者、姦通を犯す者でなく、また、この徴税人のような者でもないことを感謝します。¹²わたしは週に二度断食し、全収入の十分の一を献げています。』¹³ところが、徴税人は遠くに立って、目を天に上げようともせず、胸を打ちながら言った。『神様、罪人のわたしを憐れんでください。』¹⁴言うておくが、義とされて家に帰ったのは、この人であって、あのファリサイ派の人ではない。だれでも高ぶる者は低くされ、へりくだる者は高められる。」

他の朗読：シラ書 35：12～14, 16～19 詩編 34：2, 3, 17～19, 23 II テモテ 4：6～8, 16～18

Lectio …読む

イエスのこのたとえは、もともと「自分は正しい人間だとうぬぼれて、他人を見下している人々に」(9 節) 話したのです。これがこの箇所を理解する鍵です。

ルカによる福音書の中のイエスの教えの多くは、悔い改めようとしている罪人たちに神の国への門を開きます。対照的にファリサイ派の人々は罪人たちを入れないままにさせようとしているかに思われます。

イエスは彼の論点を分かりやすくするために、ファリサイ派の人々と徴税人の態度を用いて話します。イエスの周りに集まってきた人々にとって、彼が使ったふたつの人格はよく知られたものでした。

ファリサイ派の人々はいわば「正式な祈祷者」です。彼らが宗教的な律法について知らないことや、それをどのように守っているかは、本当には知らなくてもよいことでした。彼らは「正式な善」なのです。

しかし徴税人は墮落していると考えられていました。徴税人は、彼らの国を占領している異教徒のローマ人と結託しているわけですから、他の評価はありえません。彼らはローマ当局の操り人形で、ローマ人のために自分と同じユダヤ人から定められた税金以上の金額を取り立てて自分自身も豊かになっていました。

この二人の人物を挙げるイエスの目的は、今や明らかです。ファリサイ派の人は、自分がやることは正しく、他人がやることは間違っていると考え、うぬぼれた自慢げなやり方で祈ります。彼は自分の罪を告白することを忘れていました。徴税人は反対のことをします。彼は神の赦しを得ることが必要であると知っていました。神の前で罪を認め神の赦しと恵みを受ける用意が出来ており、それを受けることができます。ファリサイ派の人はそうではないので、神の恵みは受け取れません。

私たちも同じように試されています。誰でも罪を犯しており、誰もが神の赦しを必要としているのです。

ファリサイ派の人々の運動は、実際にはイエスの時代のユダヤ人の間に宗教的な刷新をもたらそうとするものでした。悲しいことに、彼らはイエスのメッセージを受け入れ損ねたのです。彼らは、イエスが人類を救うために神によって遣わされた人とは見なさなかったのです。ペテン師と見なしてイエスに反対し、彼を信じることを拒否したのです。

Meditatio …黙想する

神が罪を憎む理由を考えてみましょう。

あなた自身の生活の中で、あなたは罪に対してのどんな態度をとっているでしょうか。深刻に捉えて赦しを求めますか。それとも言い訳をしますか。あるいは、他人と比較して人よりはましと考えて、自分は大丈夫だと思いますか。

I ヨハネの 1 章 8、9 節を良く考えてみましょう。

「自分に罪がないと言うなら、自らを欺いており、真理はわたしたちの内にありません。自分の罪を公に言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、罪を赦し、あらゆる不義からわたしたちを清めてくださいます。」

あなたは、あなたの罪の赦しを願っていますか。カトリック信者は司祭に罪を告白し、神から赦しを受けることができると知っていることでしょうか。

私たちは、私たちが定める基準に達しない他人を裁こうとする罠に陥りがちです。このことが危険なのはなぜでしょうか。私たちはどうすればそれを避けることができるのでしょうか。私たちはどのような態度を持つべきでしょうか。

Oratio …祈る

今日の福音朗読を思い出してみましょう。あなたが正すべき罪のあらゆる面を神に明らかにしていただきましょう。神の赦しを当たり前のこととして捉えていないかよく考えてみましょう。神の慈しみに感謝をささげ、神に頼っていることを受け入れましょう。

Contemplatio …観想する

今日は神との時間を豊かにするために詩編 34 編と 51 編を使いましょう。すばらしい神の誠実さと慈しみについてよく考えてみましょう。